

平戸市で実施した公共ライドシェア実証運行プロジェクト 「DX イノベーション大賞」にて優秀賞を受賞

“「移動」を支える”テクノロジー企業としてモビリティ業界の DX に取り組む株式会社 Will Smart(東京都江東区 代表取締役社長：石井康弘、以下 Will Smart)は、一般社団法人日本オムニチャネル協会(以下、日本オムニチャネル協会)が主催する「DX イノベーション大賞 2024 年」の支援会社部門において、長崎県平戸市で実施した公共ライドシェア実証運行プロジェクトの共創性の高さが評価され、優秀賞を受賞しました。



■ DX イノベーション大賞とは

日本オムニチャネル協会主催。すべての業界・企業・組織の壁を超えて人々がつながることを促進し、イノベーションを生み出すことを目的に、DX によって「ビジネス共創」を目指す企業を表彰するもので、今回が初の開催です。

審査基準は以下の 5 項目です。

新規性：顧客に新しい価値を提供する改革か

共創性：業界・企業・組織などの壁を超えた取り組みか

組織性：全社一丸となった取り組みか

技術性：デジタルを活用した取り組みか

社会性：社会全般に影響を与える取り組みか

[日本オムニチャネル協会公式ホームページ](#)

■ 観光客の移動の足を支える公共ライドシェアの実証運行プロジェクトとは

今回優秀賞を受賞した「観光客の移動の足を支える公共ライドシェアの実証運行プロジェクト」は公共交通やタク

シードライバーの担い手不足によって交通空白が深刻化する長崎県平戸市で観光客の移動の足の確保を目的に実施されました。

実証運行の実施にあたっては行政や地域企業などが連携したコンソーシアムを構築。Will Smart は利用者予約システム、運行管理/予約管理システム、ドライバー用アプリ、IoT 車載デバイスなどライドシェアの運営に必要な機能を集約した「公共ライドシェア向けシステム基盤」を開発・提供し、ライドシェア運行時の安全確保と省力化に貢献しました。

■ 評価のポイント



業界や官民の壁を超えて行政や地域企業と関係性を確立し、共創体制を構築したことが高く評価されました。

また、過去に例がないほど人口減少が深刻化し、全国的な交通空白地の拡大が社会課題とされるなか、クラウドやIoTなどのデジタル技術を活用し、地方部において人手をかけない新たな交通サービスを短期間で実現した技術力や社会的意義の高さも受賞の決め手となりました。

Will Smart は今後も、新たな交通手段の選択肢のひとつとして公共ライドシェアを確立させるべく、地域の皆様と協力しながら交通空白地の解消に向けて取り組んでまいります。

株式会社 Will Smart とは

Will Smart は顧客企業との対話を通じて培った経験やノウハウ、最新のソリューションを活用し、モビリティ業界のお客さまとの共創による社会課題の解決に取り組んでいます。

特に、デジタル技術を活用した既存業務の無人化や自動化に強みを持ち、バスターミナルにおけるバスダイヤ統合表示システムの新規開発や EV カーシェアリング・無人レンタカー・ライドシェア等を実現する IoT 車載デバイスの提供、バス共同経営を支えるデータ分析基盤の構築など、幅広い分野での支援実績がございます。

詳しくは Will Smart の Web サイト(<https://willsmart.co.jp/>)をご覧ください。

会社概要

会社名：株式会社 Will Smart

代表者：代表取締役社長 石井康弘

設立：2012年12月12日

事業内容：モビリティ業界を中心とした事業課題解決に対して DX 技術を駆使したソリューションの企画・提案、ソフトウェアの受託開発と運用支援。

資本金：622 百万円（2024 年 4 月 16 日現在）

【報道関係者からのお問い合わせ先】

株式会社 Will Smart PR 事務局（株式会社そらはな内）担当：藤岡

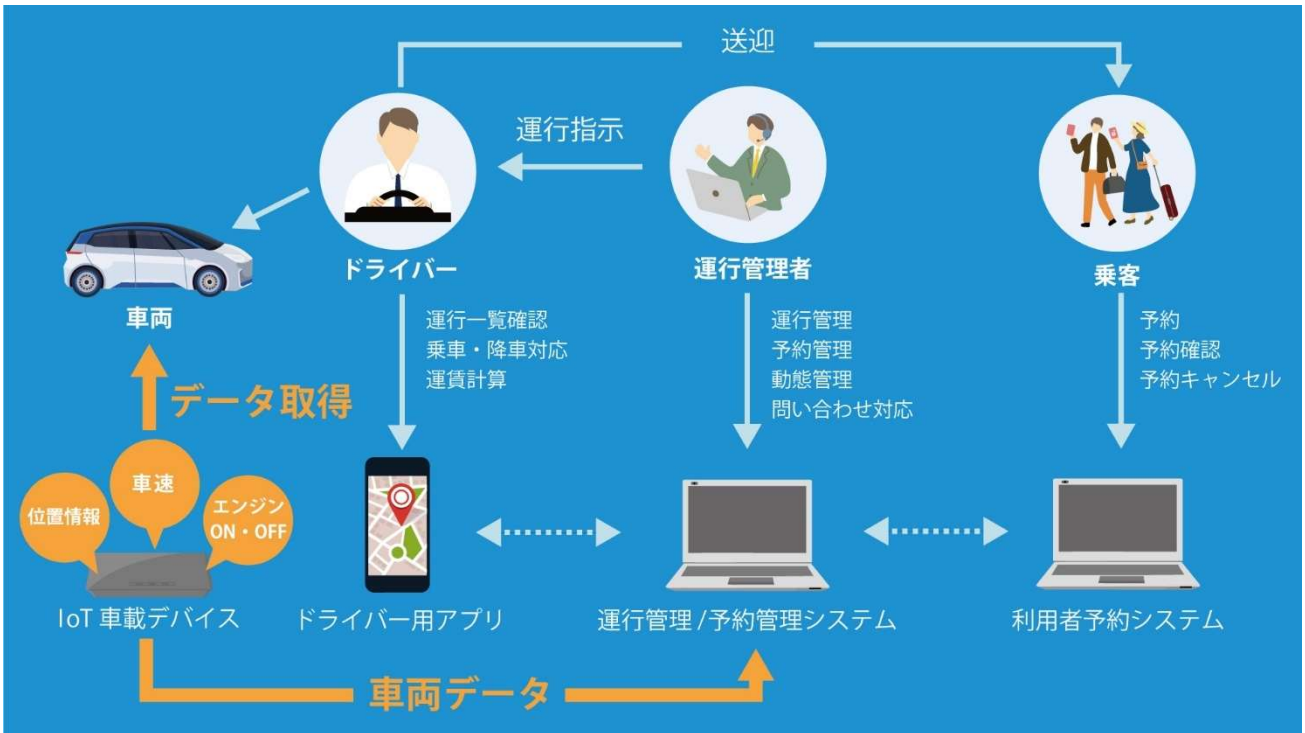
TEL:03-6436-7821 MAIL : fujioka@sora-hana.jp

【その他に関するお問い合わせ先】

株式会社 Will Smart 広報担当

TEL:03-3527-2100 MAIL: marketing@willsmart.co.jp

【補足資料】



■ Will Smart の公共ライドシェア向けシステム基盤の仕組み

利用者予約システム、運行管理/予約管理システム、ドライバー用アプリ、IoT 車載デバイスなどライドシェアの運営に必要な機能を一括で提供。運行管理者、ドライバーならびに乗客の利便性に配慮した設計となっています。

乗客は利用者予約システムから日時と出発地点、到着地点を指定し、乗車予約を行います。運賃は定額制と距離制を選択することが可能で、予約時に支払いを済ませます。ライドシェアで使用する車両には IoT 車載デバイスを搭載しており、デバイスから取得したデータはリアルタイムで運行管理/予約管理システムに蓄積されます。運行管理者は運行管理/予約管理システムで GPS の緯度・経度情報から車両の走行ルートを確認したり、法定外の速度や実車状態での長時間の停車などを把握できるため、ライドシェアの利用において不安視される安全性の確保に役立ちます。

ドライバーは専用のアプリで出発地点と到着地点を確認して乗客を迎えに行きます。アプリには初めて運行業務を行う方にもわかりやすい業務ナビゲーションが搭載されており、実車・降車などのステータス変更や、運賃計算等の機能が含まれています。これにより一般ドライバーでも安心して運行業務を行うことができます。



▲ライドシェアの車内でドライバー用アプリを操作する様子



▲動態管理画面のイメージ